

平成 23 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473701256	事業の開始年月日	平成17年3月1日	
		指定年月日	平成17年3月1日	
法人名	医療法人 徳寿会			
事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台			
所在地	(227-0033) 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町758番地1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成24年1月13日	評価結果 市町村受理日		

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none">・ 外出する機会を多く設けて、社会との繋がりを大切にしている。・ 個人の思いを大切に、その人らしい生活が送れるように支援している。・ 職員は、内外の研修へ参加しスキルアップに努めている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成24年2月20日	評価機関 評価決定日	平成24年5月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、東急田園都市線青葉台駅からバス7分、徒歩5分の同法人の大きな介護老人保健施設の隣地にある。閑静な高台に立地し、建物は南側の斜面に建てられているので、陽当たりが良く明るい。窓が大きく遠くの街並みや隣地の竹林の眺望も楽しめる。</p> <p>【法人内連携】 法人内は医療系の病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と介護系のグループホーム、訪問介護、居宅介護支援等の各種事業で構成され、それぞれが連携して、地域の人々に医療と介護の安心を提供している。</p> <p>【外出の支援】 外出の目的を「気分転換」「穏やかに暮らす」「季節を感じる」「趣味の支援」と謳い、利用者一人ひとりの歩行状態に合わせて、近所を30分前後、車椅子の方も散歩に出かけている。年間行事予定を立て、季節の行事、外食、買い物などの機会も計画し、実施している。</p> <p>【医療連携体制】 2週に1回、事業所の協力医による往診がある。同法人の訪問看護の看護師が毎週来て、健康管理をしている。どちらも24時間電話連絡ができる体制にあり、利用者は安心である。歯科は協力医受診と往診医を希望で選択できる。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台
ユニット名	1階 ユニット

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台
ユニット名	2階 ユニット

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	外部評価の結果から、理念にそった年間目標を毎年立てている。その目標に沿って職員間で話し合い年間行事などを作成している。	法人理念を週1回朝礼で唱和する。理念に沿い年間目標を立て実践につなげている。また、新入職員にはオリエンテーションで説明している。事務所、廊下に掲示するだけでなく、ミーティングでも周知している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会やケアプラザより地域の催し物の情報を得て参加している。又、散歩などの挨拶により顔馴染みの環境を作り近隣の方々との交流を行っている。	町内会に加入している。地域の清掃活動に参加し、花見やお祭りを見物して、近所の方々と交流している。民謡、踊り、歌、マジックのボランティアが来訪するので、利用者は皆楽しみにしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事への参加や近隣のお店を利用する事で、人々と接し理解を得るよう努めている。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域住民や家族、第三者機関より意見を聞ける場となっている。ホームへ持ち帰り後、職員間で共有して今後活かすようにしている。	運営推進会議は3カ月毎、年4回開催している。町内会役員、民生委員、地域包括支援センター職員、家族が参加している。避難場所、徘徊ネットワーク利用などで意見交換している。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市健康福祉局や区主催の研修に参加し運営推進会議のあり、地域包括支援センターの担当者に事業所の様子を伝え、助言を得ている。	区主催の研修会に参加したり、青葉区・緑区ブロック会議で情報交換する際に事業所の近況を伝えて、連携を図っている。レビー小体病の研修に参加し、研修内容を実際のケアに役立てている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束を行わない事を理解しているが、事業所前の道路は交通量が多く危険な為、必要な場合のみユニットドアの施錠をしている。</p>	<p>玄関は日中は開放している。ユニット入口は、利用者の状況に合わせて一時的に閉めることもある。居室の鍵は利用者の自由に任せている。職員は利用者の所在を確認して、声をかけあって見守りを連携して行っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者及び職員は研修に参加し、学ぶ機会を持っている。また、職員は虐待防止マニュアルが休憩室にあり、いつでも閲覧できる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者及び職員は、研修に参加し知識を身につけている。また、必要に応じて支援している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は重要事項説明を行い、当ホームへの希望に対しての対応可能な内容の確認を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を家族の目の付きやすいところに設置し、面会や行事などの来居時に、本人の様子を伝え、意見を聞き反映させる努力をしている。</p>	<p>家族の来訪時および新年会や事業所のプラチナ祭りの後に意見、要望を聞いている。「面会簿に時間を記入するのに、時計を置いて」との要望があり、対応した。「名前がわからない」との意見があり、職員のTシャツにはネームを貼ることを考えている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアー会を定期的に関いたり、全体ミーティングをすることで、職員の意見を吸い上げ、且つ、共に考えることで情報の共有とケアの均一化を図るようにしている。	管理者は会議やミーティング時および仕事にも職員の意見や提案を気軽に聞いている。行事やレクリエーションの内容、ケアの方法などについて意見を取り入れている。今後、法人の部長が個人面談をする予定である。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の成果レポート提出や、勤務実績の把握を通して仕事の成果を顧みる機会がある。また、その内容で各々の達成度、成果などを把握し評価している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間を通して職員がスキルアップの機会を得られるよう、内部・外部の研修予定表を作成し、研修への参加を支援している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の交換研修で職員は同業者との交流を図り、青葉区・緑区のブロック会より情報を得てサービスの向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時などに、ホームへの希望とともに、今までの生活歴や生活環境を伺い、今後のホームにての生活を安心して頂くよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との電話、又は面接時の会話にて悩んでいる事を伺いホーム入居に関しての心配や不安を減らす努力をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、本人や家族の困っている事、今後の希望を伺い必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関と連絡を取っている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、一緒に掃除や洗濯などの家事を行い、本人からは、行事などのしきたりや由来を教えて頂く。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来訪した際、本人の日々の様子や体調・要望等を伝え、一緒に考えるよう努力をしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人の来訪を歓迎している。電話や手紙、贈り物などの取次ぎを行っている。昔からの美容院は希望に応じて同行している。	友人、知人が訪ねて来ると、居室やリビングで談笑され、職員はお茶を出し関係継続の支援をしている。電話の取り次ぎをする。行きつけの美容院、喫茶店、デパートへ職員が同行する。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室に一人である事が多く、孤立してしまいがちな方にも、声をかけレクリエーションなどで皆さんとコミュニケーションをとりやすい様に支援している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設へ移られた後も、家族に様子を聞いたり職員が面会に行ったりすることにより、絆を切らない努力をしている。契約終了後も、以前と変わらない相談や支援に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時のアセスメントや日常生活の会話の中で、思いや意向を把握する努力をしている。意向の表現が困難な方については、表情や様子から汲み取ることを心がけている。	日頃の生活の中で、利用者の意向や希望を聞くようにし、情報は申し送りや記録で共有している。把握が困難な方は表情や仕草から判断し、場合によっては職員を替えるなどの対応をしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴や生活習慣を伺い、入居後もこれまでの生活を継続できるように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人が、他者を気遣いコミュニケーションをとっている様子や気分状況の変化、歩行状態を始めとする日々の様子や体調などを記録に残し申し送る事で全職員が現状を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は居室担当を中心に本人家族の要望を聞き、本人の思いをかなえる為には、どうしたら良いかを話しあい、3ヶ月ごとに見直し作成している。</p>	<p>フロアー会で居室担当職員が本人、家族の要望、医師の所見も入れて案を出したあと全員で検討し、管理者が確認して介護計画を作成している。通常は3か月毎に、急変時はその都度見直しをしている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録をもとに職員間で話し合い介護計画を作成している。また、介護計画を毎日のケアに活かしていくことが出来るように介護記録の横に入れ職員間で共有している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて医師、看護師、薬剤師、他施設相談員、福祉用具店などの協力を得て、そのとき必要なものを提供する努力をしている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会の清掃活動へ本人と共に参加したり、ボランティアの受け入れて毎日楽しく送れるよう支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携病院よりの往診を受けているが、家族付き添いでの入居前までのかかりつけ医への受診も可能である。また、歯科は協力医療機関の受診または、訪問歯科を希望により選択して利用して頂いている。</p>	<p>現在は利用者全員が協力医を受診している。2週毎に往診があり、同法人の看護師が毎週健康管理に来所している。どちらも24時間電話対応可能である。歯科は協力医受診と往診医を利用者の希望で選択している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師へ、心身の状態を報告し適切なアドバイスを受け健康管理を行っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>介護サマリーなどの情報を共有し本人が安心して治療できるよう支援し、家族や提携病院と退院後の受け入れに向けて話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関よりの医師、看護師や訪問看護、家族との話し合いを重ね今後の方針を共有する体制がある。</p>	<p>重度化の対応指針、急変時の対応を定め同意書を得ている。入居時に医療行為が継続して必要な場合は、入院となると説明している。協力医が認めた場合には看取りを行う方針である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全職員が救命救急講習を受講し、実践に対応できるようにしている。また、急変時対応マニュアルがありそれに沿い対応している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災管理マニュアルを整備し、年2回以上の避難訓練を行っている。また、併設している同法人施設よりの協力を得ることとなっている。</p>	<p>避難訓練は年2回、夜間想定は毎回、消防署は年1回立ち会っている。隣接する同法人施設からの協力が得られる体制がある。非常用の食料、水は1日分ある。隣接施設には備蓄が充分にある。</p>	<p>隣接施設の協力は事業所の単独火災時などでは有効でしょう。一方、震災時などの同時災害のためには地域住民や近距離居住職員の協力体制を構築することが期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は誇りやプライドを尊重した言葉かけを行い、個人記録には氏名の明記などしないよう職員全員が周知している。	新人職員には入職時に言葉遣いや接遇の説明をしている。トイレ誘導時は耳元で話している。利用者への呼びかけは家族の同意を得て、本人の希望通りの呼び方をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の飲物や、外出時の買物などで、本人が選べる機会を増やしている。また、傾聴にて思いを汲み取ることが出来るように努力している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日一日が楽しく、無理の無いペースで、個々の生活スタイルに添って生活できるよう支援する。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日、本人の好む服装や髪型になるよう支援し、希望に応じて理美容にお連れしたり、化粧品など好きなものが購入できるよう援助する。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事は、みんなで盛り付けや配膳、食器洗いなどを行っている。また、新年会やホームの祭りで、好みの物を作り家族と共に食事を楽しんでいる。	副食は隣接法人施設から冷凍で届くので、事業所では主食と味噌汁を作っている。献立は嗜好調査の結果を反映している。利用者はテーブル拭き、後片付けなどを手伝っている。職員も一緒に同じ食事を摂っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士が工夫した献立を提供している。疾病や体調及び季節に応じた水分・カロリーを提供し、摂取量を記録、管理している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは、個人の能力に対応した支援をしている。また、夜間の義歯洗浄剤の使用にて清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握している。日誌などへの記入と申し送りにて情報の共有化を行い日々の変化に対応している。</p>	<p>全員の排泄チェック表を記入して排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を支援している。足の悪い方はポータブルトイレを使用している。利用者の半数は自立している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表に排便状況を記入し、水分や内服薬の調整を行っている。腹部マッサージや体操、散歩にて排便状態の改善をしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>無理強いせず、個々の希望やタイミングに合わせて入浴している。希望にて入浴剤を使用している。季節の菖蒲湯などで、入浴を楽しめるように工夫している。</p>	<p>入浴頻度は冬場は週2回、夏場は週3回を目途にしているが、希望があれば毎日でも入浴することができる。入浴を好まない方は身体状況にも配慮し、家族と相談のうえ対応している。入浴剤、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の睡眠や日中の活動状況を把握し、午睡や運動などで夜間快適な睡眠が確保できるように支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	健康管理ノートや薬局よりの情報にて、内服薬は職員が確認している。変更があったときは心身状態を観察し記録に残している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の希望を尋ね、毎日の生活が、楽しく過ごせるよう好みに応じた活動を支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候や、体調を考え本人の希望を伺いながら、散歩、買物、外食などに出掛けている。	天気の良い日は歩行状態の合う人同士で周囲を10～30分、車椅子の方も一緒に散歩に出かける。車で花見や紅葉狩り、デパートでの買い物、外食、ケアプラザでのイベントなどにも出かけている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持つ事を希望され、家族も了解した場合は、現金を管理している。本人の能力に応じて、支払いの機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人情報に配慮し、希望の限り取り次いでいる。また、本人の携帯は、常に使用できるようにしている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下に絵画を飾り、リビングには協力して作った壁飾りを展示し、テーブルに花を置くなどの季節を感じられる空間を演出している。	事業所は南斜面に建てられているので日当たりが良く明るい。窓が大きく遠くの街並みや隣の竹林の眺望を楽しめる。壁には季節の絵を貼り、床暖房、加湿器などもあり快適に過ごしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個人の椅子を置いたり、気の合う方と席を同じに出来るように配慮したり、本や歌集、パズルなどがいつでも楽しめるように置いてある。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具で、本人の使いやすいように配置されている。家族の写真やぬいぐるみなどを飾り居心地の良い空間を作っている。	居室にはクローゼット、エアコン、照明器具、カーテンが備付けられている。ベッド、タンス、テレビなどを持ち込み、家族の写真やぬいぐるみ、花などに囲まれて過ごしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	能力に合わせた生活が送れるよう、共有部分に手すりや椅子を設置している。トイレなどを明記して安心して生活できるように配慮している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台

作成日 2012年 4月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域との交流はあるが、災害時の協力体制などが得られていない。	事業所と地域との交流をより深め、災害時の協力体制を確立していく。	現在、交流のある地域住民の方々とより深く係わり合い信頼関係を構築し互いに助け合える関係を築く。町内会の催物だけではなく、ホームの行事やお茶の時間などに参加していただくよう働きかけていく。	2年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。